

かこ いま みらい
つなぐ八幡のまちづくり

八幡校区コミュニティプラン

第Ⅲ期（2024～2028）



共月亭(天保山公園)

作画 恒吉克夫

八幡校区コミュニティ協議会

〒890-0056 鹿児島市下荒田4丁目7番11号
TEL/FAX 099-253-6666
E-mail yahata-comm@po5.synapse.ne.jp



目 次

| | |
|---------------------|------|
| 「第Ⅲ期プラン」策定にあたって | 1 |
| 1 八幡校区の歩み | 2 |
| 2 八幡校区の姿 | 3 |
| 3 コミュ協のまちづくり10年 | 4 |
| 4 第Ⅲ期八幡校区まちづくり計画 | 5 |
| ・スローガン | |
| ・第Ⅲ期計画目標 | |
| ・運営方針 | |
| 5 八幡校区コミュニティ協議会組織図 | 6 |
| 6 協議会構成団体 | 7 |
| 7 部会の主な構成団体 | 8 |
| 8 第Ⅲ期コミュニティプラン | 9~14 |
| ・総務部会 | 9 |
| ・安全部会 | 10 |
| ・福祉部会 | 11 |
| ・文化部会 | 12 |
| ・スポーツ部会 | 13 |
| ・青少年部会 | 14 |
| ※ 八幡ふるさと音頭 | |
| 第Ⅲ期コミュニティプラン策定委員会名簿 | 15 |

「第Ⅲ期のプラン」策定にあたって

八幡校区コミュニティ協議会
会長 和田 一雄

鹿児島市のモデル地区として八幡校区に「コミュニティ協議会」が発足したのが平成24年（2012）10月です。平成26年度には、地域のまちづくり計画である『第Ⅰ期コミュニティプラン（振興計画）』（期間：5年）が策定され、以後このプランを“指針”として校区のまちづくりをすすめてきました。5年後の令和元年度（2019）には、第Ⅰ期活動の“ふりかえり”（検証）結果を踏まえて『第Ⅱ期コミュニティプラン』（2019～2023年度）を策定、23年度最終年度を迎えます。

この1年、役員会内に設置した「コミュニティプラン策定委員会」（19人）において、構成団体等の意見も聴きながら「第Ⅱ期プラン」の検証をおこなうとともに「第Ⅲ期八幡校区コミュニティプラン」（2024～2028年度）の策定作業をすすめてきました。プランに基づくまちづくりをすすめて2期10年、第Ⅲ期においては幾つかの点で思い切った改善もいたしました。

- (1) プランは大枠にして数も減らし、事業項目は各年度の部会において柔軟に見直しをしていきます。また「役員会」から事業実施部門を切り離して「まちづくり委員会」を新たに設置、部会の運営をいっそう自立して活動しやすくいたします。
- (2) 令和5年4月1日に施行された「こども基本法」の精神を八幡校区でも活かすために、現在試行中の「八幡こどもプロジェクトチーム（YKP）」を青少年部会の準構成団体に位置づけます。子どもの意見表明権を尊重、その声を八幡のまちづくりに反映していきます。
- (3) 多くの外国人が校区内に居住している現実を踏まえ、「多文化・共生」の地域にするべく関係団体とも協力して国際交流を促進してまいります。

さて八幡校区の「少子高齢化」は急速にすすんでいます。とりわけ年少人口の減少は著しいものがあります。この現状を踏まえた八幡校区のまちづくりが「第Ⅲ期コミュニティプラン」期間の大きな課題になるものと思われま



松方正義公記念碑(下荒田1丁目)

1 八幡校区の歩み

「やはた」の由来

八幡の名前はいまから800年ほど前、大隅正八幡宮（現：鹿児島神宮）の分社・荒田八幡宮の使いとされる鳩「やばと」が「やはた」と呼ばれるようになったと言われてい

古くて新しいまち八幡

大隅正八幡宮の社領・荘園として開拓された下荒田地区は漁業と製藍業で栄えますが、やがて平田与次郎によって塩田が開かれて製塩業も盛んになりました。藩政時代後期には武家屋敷も増え、幕末から明治にかけ長澤鼎・松方正義ら多くの偉人を輩出しています。また御船手と呼ばれる薩摩藩船を管理する役所がおかれて賑わい、坂本龍馬も二度この地に上陸しています。八幡校区の形状はこの時代に形を整えたようです。

先駆的“自治”精神、町内会を単一化

校区で近代的な自治組織ができたのは1941年（昭和16）の「下荒田町内会」の結成です。校区内自治組織を一本化したこの形態は、戦後GHQによる町内会禁止などの苦難を乗り越え、1960年（昭和35）『八幡校区はひとつ』のスローガンのもと「八幡校区振興会」として再出発します。

以来63年、八幡校区振興会は校区内全町内会の“単一組織”として、地域において確かな歩みをつづけてきました。

多くの組織が連携、「コミュ協」を創設

八幡校区振興会は町内会のための組織ですが、校区のまちづくりを中心的に支えてきました。しかし会員の高齢化や人材不足、未加入世帯の増加など町内会だけでまちづくりをすすめるのに困難も生じています。

地域社会（校区）のまちづくりを町内会だけに依存するのではなく、地域で活動する他のコミュニティ組織とも協力、連携しあう協働のしくみが必要になってきました。それが「校区コミュニティ協議会」です。八幡校区は2012年（平成24）に協議会を発足させ、現在126組織（準構成団体1）が構成団体となり活動しています。

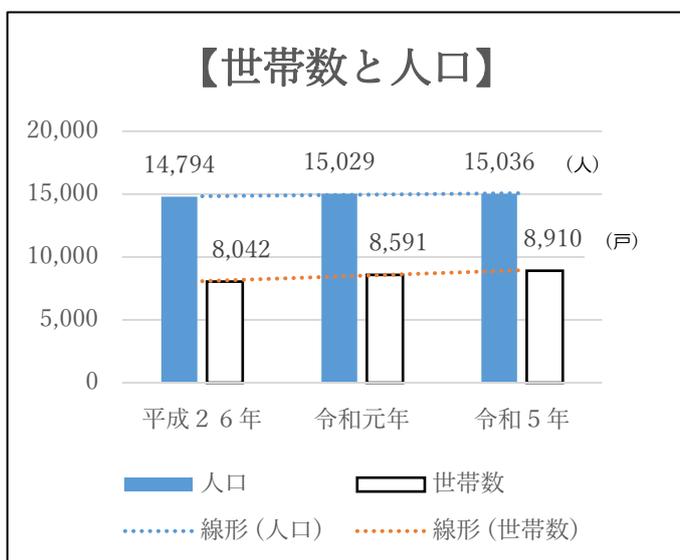


甲突河畔公園の桜並木

2 八幡校区の姿

| 人口・世帯数 | | 〔2014年（平成26年）〕 第1期プラン開始 | 〔2019年（令和元年）〕 第2期プラン開始 | 〔2023年（令和5年）〕 第3期プラン制定時 |
|------------------|--------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|
| ア | 人口（人） | 14,794 | 15,029 | 15,036 |
| イ | 世帯数（戸） | 8,042 | 8,591 | 8,910 |
| ウ 3 段 階 | 年少人口（0～14歳） | 2,059（13.9%） | 1,864（12.4%） | 1,620（10.8%） |
| | 生産年齢人口 （15～64歳） | 10,011（67.7%） | 10,014（66.6%） | 10,015（66.6%） |
| | 老年人口（65歳～） | 2,724（18.4%） | 3,151（21.0%） | 3,401（22.6%） |
| エ | 八幡小学校児童数 | 779 | 701 | 608 |
| オ | 天保山中学校生徒数 | 374 | 382 | 398 |
| カ 在住 外国人 | 世帯数（戸） | 138 | 155 | 130 |
| | 人口（人） | 205 | 217 | 197 |

（世帯数は鴨池2丁目28番を除く）



（町丁目別住民基本台帳人口より：各年度4月1日現在）

<数値から分かること>

- 1 人口は横ばいだが、世帯数が増加している。単身世帯（若者・高齢者等一人暮らし）が非常に多い地域だと言える。
- 2 校区内の「少子高齢化」がすすむ傾向にある。年少人口は10年間で人口比3.1ポイント減。八幡小学校の児童数が減少している。
- 3 一方で急速な「高齢化」がすすんでいる。高齢化率は22.6%で4.2ポイントの増。
- 4 生産年齢人口は人口構成比率が下げているものの、安定的に10,000人を超え、勤労者にとって居住条件がそろい、住みよい地域と言える。勤労単身者も多い。
- 5 外国人の居住者は鹿児島大学生・大学院生やその家族を中心に多い校区である。

3 コミュ協のまちづくり10年

《第Ⅰ期コミュニティプラン時代（2014～2018）》

113団体・3個人の構成団体で「校区コミュニティプラン（振興計画）を策定し47の事業計画を掲げました。5年間の活動の評価は、次のようにまとめられます。

- (1) 校区まちづくりの指針「コミュニティプラン」を定め、年間計画で事業をすすめる方式が定着しました。
- (2) 構成団体がひとつにまとまり「校区の意思」を決め、事業推進を図ることで、地域に大きな影響力を行使できるようになりました。
- (3) 八幡・与次郎両地区が活動・事業を通して人的に交流するようになり、絆づくり、連帯感を生み出しました。
- (4) 地域の人的資源が活用され、青壮年層の活動参加や組織化、事業への協賛が得られるようになりました。

《第Ⅱ期コミュニティプラン時代（2019～2023）》

構成団体は113団体・3個人、計画事業数は35事業。5年間の活動の評価は、次の通りです。

- (1) 期間中はほぼ“コロナ”禍で活動は思うに任せず、中止した事業も多くありました。多くの部会が工夫を凝らし、事業内容や規模を変更、縮小しながら実施したことは意義があったと思います。
- (2) 事業運営も従来の動員型から「自己決定・自己責任」型に切り替えがすすみました。多くの事業で構成団体に応募者や実行委員が加わり、参加者拡大にも努力しました。
- (3) 1年間に及ぶ熟議を経て、新たに「こども基本法」を見据えた「八幡こどもプロジェクトチーム（YKP）」「まちなか音楽会」「八幡NEWスポーツフェスタ」を試行して軌道に乗せ、第三期プランへつなぐことができました。
- (4) 令和5年8月、4年間中止されてきた「第9回八幡コミュニティ夏まつり」を、青壮年が中心となって内容・規模を変えて成功させました。

《今後の課題》

以上2期10年にわたり「コミュニティプラン」に基づくまちづくりに取り組んできましたが、成果と共に第Ⅲ期のまちづくり課題として見えてきた点もあります。

- (1) 八幡校区は鹿児島市内で1, 2を争う世帯数・人口をもつ広大な地域です。この区域に協議会の方針・行事等の広報を周知することは、並大抵ではできません。現在のコミュニティ協議会は行政の指導要綱で任意に設置されるもので、地域の統治やまちづくりに根拠と正当性をあたえる条例にもとづく持続する安定的な制度ではありません。ここが現行制度の最大の“弱点”となっています。
- (2) 今日、9, 000世帯を越す大きな八幡校区ですが、町内会加入は3, 000世帯にとどまり、与次郎地区には住民の「自治組織」は設立されていません。また町内会内でも最近活動に困難を抱え、実に校区世帯の半数以上が自治組織に無関係となっています。現行のコミュニティ協議会が全校区的な管理運営をしていくことには、非常な難しさがでてきています。
- (3) 八幡校区は生産年齢人口（15～64歳）の人口比率が6割以上を占め、単身世帯が多いのが特徴です。これらの人は地域コミュニティ団体との結びつきも薄いとみられ、今後その“ふれあい”の場をどうつくるか、大きな課題となっています。
- (4) 八幡校区もご多分に漏れず急激な「少子高齢化」です。子育て世代に魅力的な“まち”八幡にし、またひとり暮らしの高齢者に優しい“まち”を実現するために、どのようなまちづくりをすすめるのか、私たちに問われています。

4 第Ⅲ期八幡校区まちづくり計画

《スローガン》

笑顔がつなぐ八幡校区！
つよい絆で明るく住みよいまちづくり

《第Ⅲ期まちづくり計画目標》

地域ので奏でる結いと和 未来にひらく八幡校区！

《運営方針》

(方針1)

みんなが「八幡校区はひとつ」の連帯意識をもって、地域の発展と住みよい環境づくりに努めます。

(方針2)

校区の古い歴史と豊かな自然に誇りをもって未来につなぎ、みんなが協力し合い助けあい、人が個人として尊重される心豊かな八幡校区をめざします。

(方針3)

みんなが持場を活かし、だれもがいつでもまちづくりに参画できる開放的で、チャレンジ精神旺盛な八幡校区の人づくりをすすめます。

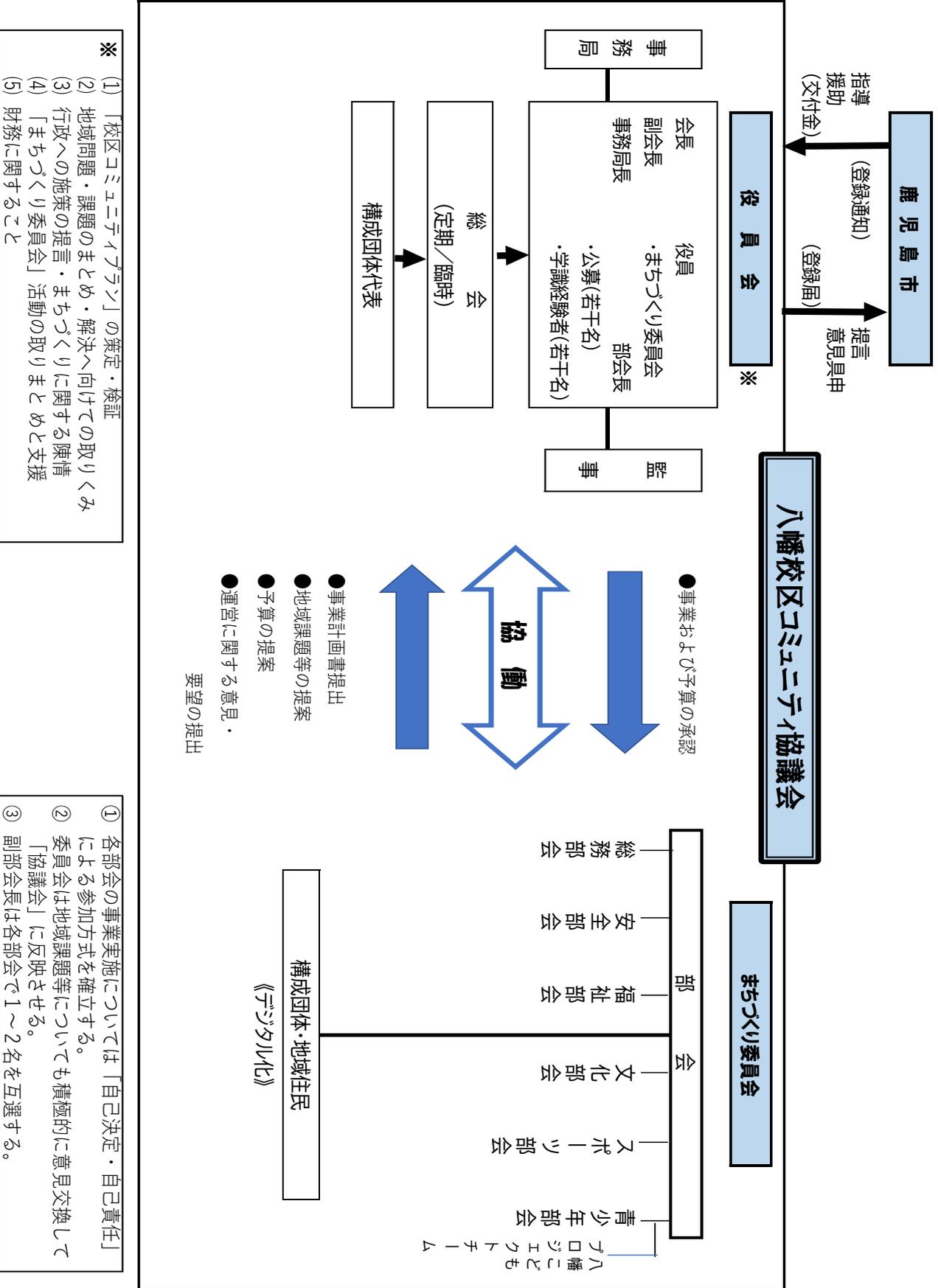
(方針4)

運営は部会が中心となるものとするが必要な部会と連携、またその都度広くサポーターを求めて広がりのある事業の推進を図ります。

(方針5)

事業内容やまちづくりの課題が住民の意向・実情と齟齬をきたさぬよう検証をおこない、毎年度事業見直しを適切に実施します。

5 八幡校区コミュニティ協議会組織図



6 協議会構成団体(126構成団体・1準構成団体・3個人)

| |
|--|
| <p>【町内会】(33)</p> <p>八幡校区振興会 武之橋協会 東二中通り町内会 正建寺地区協会 松方公誕生地協会 松方協会 御舟手町内会 八幡宮町内会 二支部二区町内会 天保山親交町内会 八幡親 和会 広口会 ヤハタ協会 騎射場町内会 下荒田三丁目通り会 体育館前西町内会 松 見崎親和会 下荒田団地会 鹿大宿舎町内会 松見中通り会 下荒田四丁目西町内会 水 産学部通町内会 新浜町内会 中浜町内会 体育館通り東町内会 天保山町内会 天保山 町本通り会 天保山五支部三区町内会 ロフティ天保山公園町内会 サーパスシティ天保 山町内会 アルファステイツ天保山町内会 鴨池公園町内会 与次郎町内会</p> |
| <p>【教育・社会教育団体等】(21 1準 個人3)</p> <p>八幡小学校 天保山中学校 八幡小学校PTA 天保山中学校PTA 八幡小おやじの会 八幡小学校家庭教育学級 天保山中学校家庭教育学級 やはた幼稚園 研明舎幼稚園 鹿 児島県婦人会館 成人学級 女性学級 八幡校区女性の会 学校支援ボランティア 八幡 校区スポーツ少年団 天保山中にこにこおじさんおばさんの会 鹿大水産学部サークル PESCA 八幡青年会 八幡まちづくりサポーターの会 かごしま虹子ども劇場八幡ブロッ ク 八幡健康体操教室 校区スポーツ推進委員(2名) 市衛生連校区理事(1名) 八幡こ もプロジェクトチーム(YKP)</p> |
| <p>【福祉団体等】(26)</p> <p>久遠保育園 ほうおん保育園 八幡福祉館 市社会福祉協議会地域福祉推進課 八幡校区 社会福祉協議会 八幡地区民生委員児童委員協議会 八幡校区あいご会連絡協議会(八幡校 区子ども会) 八幡校区高齢者クラブ連絡協議会 高齢者クラブ第二やよい会 高齢者クラ ブ八幡福寿会 高齢者クラブあじさい会 高齢者クラブ天寿会 高齢者クラブ八幡延寿会 鹿児島市高齢者福祉センター与次郎 鹿児島市長寿あんしん相談センター鴨池北 子育て サロン「ぼっぼクラブ」 八幡児童クラブ 八幡第二児童クラブ 八幡第三児童クラブ こ どもえんチャットンのおうち児童クラブ八幡 お達者クラブあつまろ会 お達者クラブはち まん会 お達者クラブひっとべ会 下荒田4丁目えがおクラブ 就労継続支援A型事業所 Fill-Try かふえ四ん処</p> |
| <p>【医療福祉施設等】(23)</p> <p>豊島病院 有馬・藤島内科クリニック JA鹿児島厚生連病院 米盛病院 すえもり内科ク リニック シルバーケア鹿児島 グループホームローズタウン グループホームローズガ ーデン ローズマリー デイサービスセンター花 居宅介護支援事業所下荒田 グループ ホームはるかぜ荒田 オアシスケア天保山 有料老人ホームシンビオ クレセール天保山 クレール下荒田 ライフイン鴨池 ケアネット徳洲会鹿児島 訪問看護ステーション美都 アルテンハイム鹿児島 南国与次郎ケアハイツ/デイサービス 南国鴨池ケアハイツ/デイ サービス (社)Saa・ya</p> |
| <p>【安全関係団体等】(14)</p> <p>八幡校区安心安全ネットワーク会議 八幡校区自主防災会連絡会 八幡校区防災士の会 八幡校区コミュニティ協議会防火協力会 鹿児島市消防団八幡分団 八幡校区青色防犯パ トロール隊 八幡見まもり隊 鹿児島中央地区交通安全協会八幡支部 地域安全モニター 鹿児島市与次郎地区防犯パトロール隊 御舟手防犯パトロール隊 松方地区防犯パトロー ル隊 天保山親交町内会防犯パトロール隊 (特定非営利活動法人)フードバンクかごしま</p> |
| <p>【事業所等】(9)</p> <p>税理士法人リバティ 石神勝郎税理士事務所 鼎孝四郎司法書士事務所 司法書士法人あ らた法務事務所 さかえ司法書士事務所 しばた司法書士事務所 司法書士事務所ソノダ (有)サンライズ総合保険 (有)ニコニコ堂</p> |

7 部会の主な構成団体

総務部会

●主な活動領域

歴史・史跡・文化の伝承
地域環境美化 町内会の活性化
広報活動等

- ・八幡校区振興会（会長・副会長）
- ・町内会環境衛生部
- ・与次郎町内会
- ・八幡小学校 ・天保山中学校
- ・八幡校区あいご会連絡協議会
- ・八幡校区高齢者クラブ連絡協議会
- ・八幡校区社会福祉協議会
- ・八幡青年会
- ・八幡小おやじの会
- ・八幡まちづくりサポーターの会

安全部会

●主な活動領域

「人命と財産」を守る防火・防犯・
防災・交通安全（研修 訓練 連
携）等

- ・町内会安全部
- ・校区自主防災会連絡会
- ・校区安心安全ネットワーク会議
- ・地域防犯パトロール隊
- ・中央地区交通安全協会八幡支部
- ・市消防団八幡分団
- ・校区青色防犯パトロール隊
- ・校区コミュ協防火協力会
- ・校区あいご会連絡協議会
- ・八幡小学校PTA ・天保山中学校PTA
- ・八幡見まもり隊 ・校区防災士の会

福祉部会

●主な活動領域

ともに支え合い思いやる
地域・児童・高齢者・障がい者・
福祉ボランティア等

- ・町内会社会福祉部
- ・校区社会福祉協議会
- ・地区民生委員児童委員協議会
- ・校区高齢者クラブ連絡協議会
- ・子育てサロン ・校区お達者クラブ
- ・久遠保育園 ・ほうおん保育園
- ・八幡校区医療福祉ネットワーク

文化部会

●主な活動領域

人づくり 生きがいづくり
ふれあいと仲間づくり 人権学
習等

- ・町内会女性部
- ・校区女性の会 ・校区女性学級
- ・校区成人学級
- ・学校支援ボランティア
- ・八幡小学校家庭教育学級
- ・天保山中学校家庭教育学級・八幡福祉館
- ・鹿児島県婦人会館 ・八幡健康体操教室
- ・生涯学習グループ

スポーツ部会

●主な活動領域

ふれあいスポーツ大会
健康・体力づくり等

- ・町内会社会体育部
- ・スポーツ推進委員
- ・八幡小学校 ・天保山中学校
- ・校区スポーツ少年団 ・八幡青年会
- ・八幡まちづくりサポーターの会

青少年部会

●主な活動領域

生きる力（たくましく 共に 地域
に）愛郷心と後継者育成
「こども基本法」精神の具体化等

- ・校区あいご会連絡協議会（町内会あいご部）
- ・八幡小学校 ・八幡小学校PTA
- ・天保山中学校 ・天保山中学校PTA
- ・やはた幼稚園 ・研明舎幼稚園
- ・地区民生委員児童委員協議会
- ・八幡スポーツ少年団
- ・天保山中にここおじさんおばさんの会
- ・八幡児童クラブ運営委員会
- ・（八幡こどもプロジェクトチーム）

8 第Ⅲ期コミュニティプラン（2024～2028：5年間）

総務部会（3プラン）

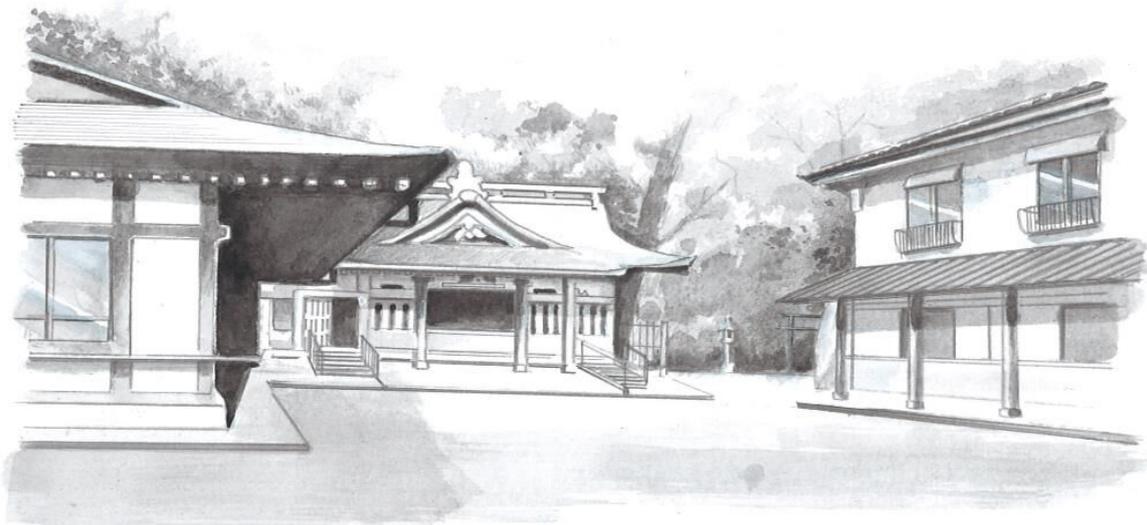
| プラン | 事業名 | 事業目標及び内容 |
|----------------------|-----------------------|--|
| 1 未来につながるふるさと八幡の絆づくり | (1) 「八幡コミュニティ夏まつり」の開催 | 天保山公園を舞台に8月開催。住民の新たなふれあい・絆づくりをめざす。 |
| | (2) 校区全域ですすめるあいさつ運動 | 校区全域であいさつ運動を展開し、校区中に「おはよう」「こんにちは」がこだまする気風をつくる。 |
| 2 校区住民に行きわたる広報活動 | (3) 広報紙「あしたの八幡」発行 | 協議会の活動報告を主体にした定期号や臨時号を発行する。 |
| | (4) facebook の実用化 | 住民への情報発信手段として、インターネット活用の充実を図る。 |
| 3 学んで実践、地域の自然・環境保護 | (5) 自然・環境保護に関する研修会 | 校区の自然や環境保護に関する研修会を実施し、地域への誇りと住みやすい環境づくりに努める。 |
| | (6) 地域での自主的環境美化活動 | ごみステーション等の美化活動をはじめ、日常的に校区の美化活動の実践化を図る。 |
| | (7) 「クリーンシティかごしま」 | 「クリーンシティかごしま」の日（8月第1日曜日）に町内会や事業所等による清掃など美化活動を推進する。 |



天保山橋から桜島を望む

安全部会（3プラン）

| プラン | 事業名 | 事業目標及び内容 |
|------------------------------------|------------------------------------|---|
| 1 住民の安心 安全な暮らし を守る地域安 全活動 | (1) 安心安全ネットワーク 会議による安全対策推 進 | 関係機関・団体が集まり、地域の安全 に関する情報を共有し、その対策に努 める。 |
| | (2) 青パト隊・防犯パト隊 による地域防犯活動 | 住民の被害防止に向け、登下校時やイ ベント等実施の際、パトロールを実施 する。 |
| | (3) 交通事故防止活動 | 子どもや高齢者の事故防止のため、振 興会や交通安全協会と連携して交通 安全教室等を開催する。 |
| | (4) 「校区暴力追放大会」 の開催 | あらゆる組織暴力追放をスローガン に住民大会を開催し、市民大会にも参 加する。 |
| 2 被害の最 小限化をめ ざす防災対 策 | (5) 「校区防災訓練」「校区 防災研修会」の開催 | 地震・津波・台風・水害等を想定した 防災訓練・防災研修会をおこない、自 然災害に対する住民の危機意識や心得 を養う。 |
| | (6) 京都大学との「桜島防 災ワークショップ」の 開催 | 桜島大噴火に備えて京都大学防災研 究所と連携しワークショップ等を行 い、住民の危機意識や心得を養う。 |
| 3 見守り・声 かけ運動 | (7) 見まもり隊を中心とす る日常的活動の推進 | 登録者による「見まもり隊」を中心に、 子どもや高齢者の安全を日常的に見 守り声をかける。 |
| | (8) 「1の日」での見守り・ 声かけ | 毎月1日を「1の日」と定め、校区内 8カ所と自宅周辺で地域住民有志が 登校する児童生徒にあいさつ・見守り 声かけ活動をおこなう。 |



荒田八幡宮境内

福祉部会（3プラン）

| プラン | 事業名 | 事業目標及び内容 |
|---------------------|-------------------------------|---|
| 1 健康・生きがいがづくり活動 | (1) 高齢者・お達者クラブ・ふれあい会食の支援、情報交換 | 教室や講座の充実により高齢者の生きがいがづくりを図り、元気で活発な活動を促進する。 |
| | (2) 高齢者の“居場所”づくり、「カフェ」の増設 | 高齢者の気軽な交流の場を設け、高齢者の孤立や引きこもりを防ぎ、ふれあいを通して健康づくりや生きがいがづくりをすすめる。 |
| | (3) 各種健康講座の開設 | 地域住民を対象とした健康づくりに関する講座を開き、健康への意識や増進への意欲を高める。 |
| 2 高齢者の見まもり・声かけ運動 | (4) 「敬老訪問」の実施 | 住民みんなで長寿を祝うため、敬老の日に町内会役員と民生委員が敬老者宅を訪問して記念品と児童の手紙を手渡す。 |
| | (5) 要支援高齢者・子どもへの見まもり・声かけ | 町内会や民生委員と連携し、一人暮らしや支援を要する子ども・高齢者等への日常的見守り・声かけをおこなう。 |
| 3 医療福祉施設・事業所等との連携活動 | (6) 医療・福祉施設等との連携活動 | 病院や福祉施設等と連携する。健康や福祉に関する知識や実践方法を学び、日頃の健康生活に役立てる。 |
| | (7) 「校区すこやかまつり」の共催 | 校区社協や医療福祉施設等で実行委員会をつくり、各種団体・学習グループの舞台・展示をおこない、住民のふれあいの場を提供する。 |
| | (8) 子育てサロンの支援 | 子育ての悩みの解消と母親同士やOGとの交流を図る。 |



島津青杉公御陣屋址
(天保山中学校内)

文化部会（3プラン）

プラン

1 生涯学習で
学ぶ喜び、つ
どう喜びの機
会づくり

2 歴史と文化
のかおり残す
八幡の継承

3 多文化・共
生のまち八幡
の創出

| | 事業名 | 事業目標及び内容 |
|-----|--------------------|--|
| (1) | 成人学級、女性学級の開設 | 時代の変化に対応できる能力や豊かな人間性、社会生活に必要な教養・能力の向上を図るための講座を開設する。 |
| (2) | 家庭教育学級、おやじの会との連携 | 小・中学校の家庭教育学級、おやじの会への支援と地域づくりでの連携を図り共に学び合う機会をもつことをめざす。 |
| (3) | 県婦人会館、八幡福祉館講座との連携 | 県婦人会館の主催事業・八幡福祉館の文化サークルとの交流を通して、校区全体での文化活動振興を図る。 |
| (4) | 歴史講座（ふるさと講座、史跡めぐり） | 鹿児島市や校区の歴史・文化について専門の講師を招き、年6回程度講座を開講する。史跡巡りにも取り組む。 |
| (5) | 「まちなか音楽会」の開催 | 地域のアーティストを掘り起こし、演奏等をしてもらうことで、地域に潤いと文化の香りを届ける。 |
| (6) | 地域在住外国人との交流の場づくり | 鹿児島大学留学生等が多く居住する地域の特徴を生かして、鹿児島大学・留学生会館と連携し交流を復活する。 |
| (7) | 外国人のイベントへの参加促進 | 「すこやかまつり」出演、「スポーツフェスタ」「夏まつり」参加を促し、日本文化に触れてもらい、併せて共生のまちづくりのきっかけとする。 |
| (8) | 「やはた女性サロン」の開設 | 町内会女性部員がつどい、自由に語り合うお茶のみ「サロン」を公民館に随時オープンさせる。 |



長澤鼎本籍・生い立ちの地碑

スポーツ部会（2プラン）

プラン

1 各種スポーツ大会の開催

2 住民参加の健康づくりの推進

| | 事業名 | 事業目標 |
|-----|------------------|--|
| (1) | 八幡スポーツフェスタ | 住民の健康づくりや親睦を目的に、世代を問わず「いつでも」「どこでも」ゲーム感覚で気軽に楽しめる競技会を開催する。 |
| (2) | 八幡ニチレクボール大会 | 地域住民が集い、だれでも気軽に競技できる「ニチレクボール」の大会を開催する。 |
| (3) | 夏季校区ラジオ体操の日 | 健康づくりラジオ体操の日を設定し、小・中学校を会場に健康増進に向けラジオ体操を楽しむ。 |
| (4) | ウォーキング、歩こう会の連携開催 | 健康づくりウォーキングや歩こう会に取り組んでいる方々と連携し、校区内のコースを歩き健康づくりを推進する。 |



調所広郷の碑
(天保山町)



松方橋遠景（甲突川左岸）

青少年部会（3プラン）

| プラン | 事業名 | 事業目標及び内容 |
|--------------------------|-------------------------------|--|
| 1 「こども基本法」の精神を活かす施策の推進 | (1) 「八幡こどもプロジェクトチーム」の応援、意見の尊重 | 小・中学生が地域のよさや課題を子どもの目線で話し合い、その意見を八幡校区のまちづくりに反映させる。 |
| | (2) 「八幡版郷中教育」の継続応援 | 中学生による小学生への学習指導など土曜日や日曜日に年長者による年少者への既設「郷中教育」を応援する。 |
| 2 子どもが社会に生き次世代を担う力を養う応援策 | (3) 「八幡校区立志のお祝い」の開催 | 14歳の立志式を開催し、“元服”を迎えた中学2年生の前途を地域ぐるみで祝う。 |
| | (4) 校区あいご会主催事業の応援 | 「あいご会」の実施する「七夕まつり」「球技大会」「歩こう会」「レクリエーションのつどい」などの自主的取り組みを支援する。 |
| 3 子どもが安心してくらす地域環境づくり | (5) 「地域で子どもを育てる八幡校区のつどい」の開催 | 青少年関係団体が一堂に会し、子どもを取り巻く地域環境の課題やその改善策を検討し、今後の取り組みを考える。 |
| | (6) 八幡小・天保山中「にこにこあいさつ運動」 | 毎月25日に八幡小学校・天保山中学校で実施しているあいさつ運動を継続し地域ぐるみのあいさつ運動に広げる。 |



坂本竜馬新婚の旅碑
(天保山町)

八幡ふるさと音頭（ハッピー八幡）

作詞 やはた作詞委員会

作曲 宮之原せつみ

一 ハッピー八幡 ハッピー八幡 しあわせのまち

海のもごうは桜島 まごて住みよか 八幡まち

ニコニコニコ よかにせどん

笑顔かわいか よかおごじよ

声をかけあい 声をかけあい こんにちは

じゃっどじゃっどじゃっど

じゃっどじゃっどじゃっど しあわせのまち

二 ハッピー八幡 ハッピー八幡 しあわせのまち

川は流れて錦江湾 まごてよかよか 八幡まち

桜並木に 夏祭り 十五夜さんに 火の用心

声をかけあい 声をかけあい こんにちは

じゃっどじゃっどじゃっど

じゃっどじゃっどじゃっど しあわせのまち

三 ハッピー八幡 ハッピー八幡 しあわせのまち

緑芝生に市電が走る まごて便利な 八幡まち

先人偉人に見守られ 未来に続く やはたっ子

声をかけあい 声をかけあい 大丈夫

じゃっどじゃっどじゃっど

じゃっどじゃっどじゃっど しあわせのまち



第Ⅲ期八幡校区コミュニティプラン策定委員会名簿

| 役職 | 氏名 | 協議会役職 | 所属構成団体 |
|------|--------|----------------|-----------------|
| 委員長 | 和田 一雄 | 会長 | 八幡校区振興会 |
| 副委員長 | 末野 資英 | 副会長 | 八幡まちづくりサポーターの会 |
| 委員 | 菫蒲谷 絹代 | 書記 | 八幡校区社会福祉協議会 |
| 委員 | 上山 辰巳 | まちづくり部会長 | 天保山町内会 |
| 委員 | 西帯野 久 | 安全部会長 | 校区安心安全NW会議 |
| 委員 | 有村 絹子 | 福祉部会長 | 八幡地区民生委員児童委員協議会 |
| 委員 | 高田 忠一 | ふれあいスポーツ部会長 | 八幡消防分団 |
| 委員 | 田中 栄一郎 | 青少年育成部会長 | 校区あいご会連絡協議会 |
| 委員 | 須部 貴之 | まちづくり部会副部会長 | 騎射場のきさき市 |
| 委員 | 下野 純一 | 安全部会副部会長 | 天保山親交町内会 |
| 委員 | 福留 孝子 | 福祉部会副部会長 | かふえ四ん処 |
| 委員 | 芝田 淳 | 福祉部会副部会長 | しばた司法書士事務所 |
| 委員 | 山崎 正代 | 文化部会副部会長 | 校区女性学級 |
| 委員 | 松尾 浩平 | ふれあいスポーツ部会副部会長 | 天保山中学校PTA |
| 委員 | 松山 あや | ふれあいスポーツ部会副部会長 | スポーツ推進委員 |
| 委員 | 野井 隆弘 | 青少年育成部会副部会長 | 八幡まちづくりサポーターの会 |
| 委員 | 今村 聖子 | 青少年育成部会副部会長 | 校区あいご会連絡協議会 |
| 委員 | 金子 満 | 相談役 | 鹿兒島大学准教授 |
| 委員 | 常深 透 | 相談役 | 元市中央公民館長 |

